



地震に

自信

信

北海道 釧路沖地震

釧路市水道部
給水課長 本間直弥

北海道奥尻島での地震災害が記憶に新しい中、さかのぼること半年前、私ども釧路沖においても、過去に類を見ない地震が発生しました。

今年、1月15日。午後8時6分、釧路沖20kmを震源とする震度6の地震が発生しました。釧路で震度6を記録したのは、明治43年の釧路地方気象台開設以来初めてでした。

即座に漏水を心配したため、水道部庁舎に向かいました。災害対策本部は8時10分に設置され、40分後に漏水発生第一報が入り、漏水発生情報が次々と災害対策本部と市民からの電話により通報が寄せられました。臨戦体制に入った中、浄水所と連絡を取り確認したところ、全面断水は避けることができました。

また、市内全域配管システムの被害が多く発生した中で、給配水管の漏水については、発生から6日間の間に67件。この数字については予想より少なかったように思います。その様な状況の中にあって屋内配管に使用されている銅管は極めて被害が少ないことがわかりました。あらためて銅管はすぐれた管材の一つであることがわかりました。地震発生から10日間、今思い出すと大変な勤務の連続でした。しかし、職員及び関係者が一丸となり、迅速に対応したため、大きな混乱は避けられたかと思います。地震に自信。今回の体験を今後の水道給水の職務に生かしていきたいと思っております。